

## 旧洋館御休所のあらまし

旧洋館御休所は、天皇や皇族が新宿御苑内の温室で植物を観賞する際の休憩所として明治29(1896)年に創建されました。建物は宮内省<sup>たくみりょう</sup>内匠寮により設計され、アメリカの住宅を中心に流行したスティック・スタイルを基調に建てられています。

創建後、皇族の来苑が増えるとともに4度にわたる増改築が行われ、大正後半からは主にスポーツ後のクラブハウスとして使用されるようになりました。大正13(1924)年の増築によりほぼ現在の規模・仕様が整えられ、昭和初年にかけて利用のピークを迎えます。

戦後は、長く管理事務所として使われましたが、歴史的・文化的価値の高い建物として保存が決まり、平成13(2001)年、大正13年当時の姿に復元する保存改修工事が完成しました。

## 皇族方と御休所

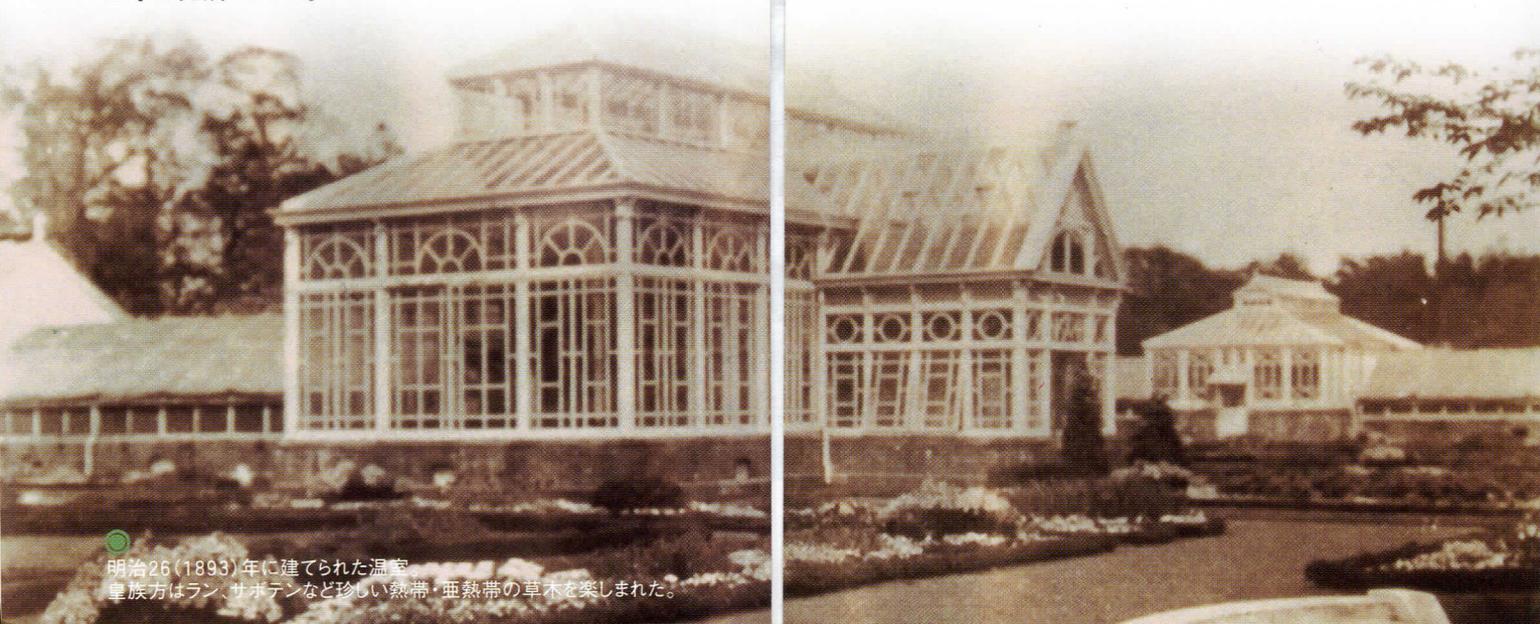
新宿御苑は、明治12(1879)年皇室の禁苑となりました。御休所の利用は初めは少なかったようですが、明治末から大正に入ると、温室の見学とともに御休所で休憩することが増えてきました。

大正13(1924)年、テニスやゴルフなどのスポーツのクラブハウスとしての環境が整えられ、野外レクリエーションの場としての新宿御苑の利用が加わると、多くの皇族方に利用されるようになりました。

昭和天皇は皇太子時代の大正10年代には、しばしば新宿御苑を訪れてゴルフを楽しまれましたが、ご成婚後は皇太子妃を伴って来苑されることが多かったようです。

昭和に入ると時勢の変化により皇族方の来苑も少なくなり、御休所も皇室とともに歩んだ歴史の幕を閉じるようになりました。

明治26(1893)年に建てられた温室  
皇族方はラン、サボテンなど珍しい熱帯・亜熱帯の草木を楽しみました。



## 沿革

- 明治29(1896)年 新宿御苑内に旧洋館御休所が創建される。
- 明治42(1909)年 控室、事務室、小使室等が増築される。
- 大正10(1921)年 控室2室が1室とされて食堂に、事務室が控室に、小使室が調理室に改築される。
- 大正11(1922)年 殿下と臣下用の浴室・便所等が増築され、東南面の外廊下が内廊下に改築される。
- 大正13(1924)年 妃殿下と女官用の浴室・便所等が増築され、ほぼ現在の規模・仕様が整えられる。
- 昭和24(1949)年 この年から平成6(1994)年まで管理事務所として使われる。
- 平成13(2001)年 保存改修工事が竣工し、公開が始まる。



### 環境省新宿御苑管理事務所

〒160-0014 東京都新宿区内藤町11  
tel 03-3350-0151 fax 03-3350-1372  
<http://www.shinjukugyoen.go.jp/>



## 新宿御苑 旧洋館御休所のご案内